

平成29年度大雪山国立公園入山者数の推計結果(登山者カウンター等カウント値結果)

● 対象とする登山口

平成29年度は、下表の登山口を対象とした。位置図は別紙のとおり。なお、現時点では利用者が少なく、登山者カウンターを設置して人数を計測しても、全体数の誤算の範囲に含まれてしまうと考えられる登山口は対象にしていない。

● 結果の概要

①月別の入山者数は、最も多い月が9月、その次が7月であると考えられる。

②入山者が多い上位3登山口は、黒岳登山口、十勝岳登山口(十勝岳方面)、姿見の池(裾合平方面)である(データが欠損した姿見の池(旭岳方面)を除く。)

なお、熱感知式カウンターの精度検証の結果から入山者数の実数はカウント値よりも一定程度少ないと考える必要がある。平成29年度6月～10月期の大雪山国立公園の年間のカウント数を単純に合計した値について、これまでに実施した精度検証の結果から、仮に誤差が約110%～148%と仮定すると、大雪山国立公園全体の入山者数は約7～9万人程度の間にあると考えられる。

登山口	年間	6月	7月	8月	9月	10月	推計方法	カウンター設置期間
1 黒岳登山口	約27000程度	—	約6500程度	約8800程度	約11000程度	約11000程度	熱感知式カウンターからの推計	平成29年7月14日～10月4日
2 銀泉台登山口(第一花園下)	約12000程度	約200程度	約3800程度	約1700程度	約5900程度	0～50程度	熱感知式カウンターからの推計	平成29年6月26日～10月3日
3 高原温泉登山口(緑岳コース)	約3600程度	約300程度	約1200程度	約900程度	約1100程度	50～100程度	熱感知式カウンターからの推計	平成29年6月21日～10月3日
4 高原温泉登山口(沼巡りコース)	約5700程度	約100程度	約500程度	約300程度	約4400程度	約500程度	ヒグマ情報センター利用者数資料	—
5 クチャンベツ登山口	—	—	—	—	—	—	熱感知式カウンターからの推計	—
6 愛山溪温泉登山口	約2200程度	40～60程度	約500程度	約500程度	約1100程度	40～60程度	熱感知式カウンターからの推計	平成29年6月27日～10月4日
7 姿見の池(裾合平方面)	約13000程度	約500程度	約5500程度	約1900程度	約5000程度	約400程度	熱感知式カウンターからの推計	平成29年7月11日～10月19日
8 姿見の池(旭岳方面)	—	—	—	—	—	—	熱感知式カウンターからの推計	平成29年7月11日～10月19日
9 美瑛富士登山口	約800程度	—	約300程度	約300程度	約200程度	0～50程度	熱感知式カウンターからの推計	平成29年7月11日～10月18日
10 天人峡登山口	約300程度	—	—	約200程度	約100程度	0～50程度	人感センサー式カメラからの推計	平成29年6月23日～10月19日
11 十勝岳登山口(美瑛岳方面)	約1000程度	0～50程度	約600程度	約400程度	—	—	熱感知式カウンターからの推計	平成29年6月30日～10月12日
12 十勝岳登山口(十勝岳方面)	約13000程度	約100程度	約7200程度	約3700程度	約2000程度	約200程度	熱感知式カウンターからの推計	平成29年6月30日～10月12日
13 十勝岳温泉(安政火口)	約10000程度	—	—	約4100程度	約5600程度	約500程度	熱感知式カウンターからの推計	平成29年8月2日～10月12日
14 原始ヶ原登山口	約300程度	—	40～60程度	約200程度	約100程度	0～50程度	人感センサー式カメラからの推計	平成29年7月14日～10月6日
15 十勝岳新得側登山口	0～50程度	—	—	—	0～50程度	0～50程度	国有林入林簿からの推計	—
16 トムラウシ山(短縮コース)登山口	約3100程度	約200程度	約1400程度	約1000程度	約500程度	0～50程度	赤外線式カウンターからの推計	平成29年6月15日～10月4日
17 トムラウシ山(温泉コース)登山口	約100程度	0～50程度	0～50程度	50～100程度	0～50程度	0～50程度	赤外線式カウンターからの推計	平成29年6月15日～10月4日
18 石狩岳登山口	—	—	—	—	—	—	—	—
19 ユニ石狩岳登山口	約200程度	—	—	—	約100程度	0～50程度	国有林入林簿からの推計	—
20 ニベツ山登山口	—	—	—	—	—	—	—	—
21 ウペペサンケ山登山口	—	—	—	—	—	—	—	—
22 白雲山土幌側登山口	約600程度	約200程度	約200程度	50～100程度	約100程度	50～100程度	国有林入林簿からの推計	—
23 白雲山鹿追側登山口	約2600程度	約400程度	約600程度	約500程度	約700程度	約500程度	国有林入林簿からの推計	—
24 東ヌブカウシヌプリ登山口	約900程度	約100程度	約100程度	約200程度	約200程度	約300程度	国有林入林簿からの推計	—
25 南ベトウトル山登山口	約100程度	0～50程度	0～50程度	0～50程度	0～50程度	0～50程度	国有林入林簿からの推計	—

計測手法ごとに実数に対して多い又は少ない傾向にあるといった計測値の特性が異なること、同じ計測手法であっても熱感知式カウンターの場合は場所により誤差が異なることも考慮に入れて、次のように取り扱った。

①登山口ごとに、月別にカウントした生データの値を記入した。登山口ごとの年間合計と、月別の合計値は、これらの値を単純に足し合わせた値である。

②明らかなエラー値については、除去した。

・姿見の池(旭岳方面)については、機器の不具合によりデータが欠損していた。

・十勝岳登山口(美瑛岳方面)6月～10月の生データは2,702,888。データを確認し、9月1日～9月14日は0、9月15日～10月12日に計測された値はすべて誤計測だったものと判断した(誤計測値の合計:2,701,838)。このため、年間の数は2,702,888-2,701,838=1,050、9月及び10月はデータなしとした。表記は下記③に従い年間を「約1,000程度」とした他、6月、7月、8月についてはそれぞれの正常なカウント値をもとに下記③に従い表記した。

・天人峡登山口の人感センサー式カメラは6月23日に設置したが、マイクロSDカードやカメラの故障や不具合により次の期間のデータが欠損していた。6月23日～8月5日、9月18日～9月30日、10月2日～10月19日。

③上記①で求められた値のそれぞれについて、次のように表記した。

・1000以上の数値については、有効数字を左2桁として、3桁目を四捨五入した。

・100～999の数値については、10の位を四捨五入した。

・0～39の数値については「0～50程度」、40～60の数値については「40～60程度」、61～99の数値については「50～100程度」と表記した。

●上記の操作を行ったため、次の点に注意が必要である。

①登山口ごとの各月別のカウント値の合計と登山口ごとの年間のカウント値の合計は一致しない。②各月の登山口ごとの人数の合計と、各月の合計の人数は一致しない。

●登山者カウンターは、雪解け後、できる限り早い時期に設置しようとしているため、設置以前に入山した登山者は把握できない。積雪により登山者カウンターが回収することができない可能性があるため、回収を急いだ登山口については、撤去後の登山者は把握できない。

●参考

銀泉台(第一花園上)でも計測をしており、その値は、年間約12,000程度、6月約200程度、7月5,800程度、8月約1,900程度、9月約4,200程度、10月0～50程度であった。銀泉台(第一花園下)の計測値との差は、銀泉台(第一花園)のみを探勝した人の数を意味する。

姿見の池周回コースのみを散策した者の数は、この表には含まれていない。

クチャンベツ登山口に至る林道が平成28年7月31日の大雨で通行止めとなったため、8月以降同登山口から入山する登山者はいない。

十勝岳新得側登山口に至る林道は9月21日から、ユニ石狩岳登山口に至る林道は8月1日から通行止めが解除され、これ以降、入林簿が設置された。

石狩岳登山口、ニペソツ山登山口、ウベペサンケ登山口に至る林道が平成28年8月から通行止めのため、これらの登山口から入山する登山者は把握していない。

雪解けの早い然別湖外輪山については4月から入山があり、国有林入林簿からの推計では、4月・5月合わせて、白雲山土幌側登山口が約300程度、白雲山鹿追側登山口が約200程度、東ヌブカウシヌブリ登山口が50～100程度、南ペトウトル山登山口が0～50程度であった。